

よう、その組織等についても定めた上で、周辺自治体への通報も含めて連絡先を整備しておくことが望ましい。

[記載例]

(災害時の応急措置)

第〇条 〇〇施設長は、地震又は火災による災害が発生し、病原体等の安全管理に関し、本規程の定めによることができないと認めたときは、直ちに緊急対策本部を設置するとともに、次の各号に定める応急措置を講じなければならない。

- 一 火災が起こり、又はこれらに延焼するおそれがある場合には、消火又は延焼の防止に努めるとともに、直ちにその旨を消防署又は消防法第24条の規定により、〇〇〇（市町村長の指定した場所）に通報すること。
  - 二 感染症の発生を予防し、又はそのまん延を防止する必要がある場合には、病原体等取扱施設内にいる者、病原性輸送物の運搬に従事する者又はこれらの付近にいる者に避難するよう警告すること。
  - 三 必要に応じて特定病原体等を安全な場所に移すとともに、特定病原体等の周囲には、縄を張り、又は標識等を設け、かつ、見張人をつけることにより、関係者以外の者が立ち入らないための措置を講ずるよう努めること。
  - 四 その他病原体等による感染症の発生を予防するために必要な措置を講ずること。
- 2 各実験室において病原体等を取扱う職員等は、地震又は火災等の災害が発生したとき、又は警戒宣言が発せられたときは、直ちに次の各号に定める緊急時措置を講じなければならない。
- 一 直ちに実験を中止し、病原体等を高濃度消毒槽（2%次亜塩素酸ナトリウム溶液：使用する特定病原体等によっては次亜塩素酸ナトリウム溶液に抵抗がある病原体等もあるので注意すること）に投入殺菌又は高圧滅菌器に密封するとともに、火災の発生にあつては、備え付けの消火器で消火又は延焼防止にあたること。
  - 二 直ちに脱出し実験室のドアの閉鎖を確認する。措置を講じた後、病原体等取扱主任者等へ災害の発生を通報すること。
  - 三 通報を受けた病原体等取扱主任者等は管理区域内の職員等を退去させるとともに管理区域の給排気系を閉じ管理区域を密閉すること。
  - 四 必要に応じて特定病原体等を安全な場所に移すとともに、縄を張り、又は標識を設け、かつ、見張人をつけることにより、関係者以外の者

- が立ち入らないための措置等を講ずるよう努めること。
- 3 第1項各号及び前項各号に掲げる緊急作業を行う場合には、防御服を装着すること、病原体等に曝露する時間を短くすること等により、緊急作業に従事する者の病原体等の曝露をできる限り少なくすること。
  - 4 ○○施設長が、管理区域の設備が正常に作動する事を確認するまで実験を再開してはならない。

## 特定病原体等菌株台帳（記載例）

特定病原体等の名称： ペスト菌 ボツリヌス菌 SARSコロナウイルス 炭疽菌

野兎病菌(ツレンシス) 野兎病菌(ホルアークティカ) ボツリヌス毒素

菌株名 (ウイルス株)	分離・入手 年 月 日	由来・分与元	管理番号	保管形態	保管場所	滅菌方法 年 月 日	確認欄	備考
YP1	2007. 6. 1	〇〇研究所	NO. 1	冷凍・チューブ	A冷凍庫	1・2・3・4・5		
			NO. 2	冷凍・チューブ	A冷凍庫	1・2・3・4・5		
			NO. 3	冷凍・チューブ	A冷凍庫	1・2・3・4・5		
			NO. 4	冷蔵・保存培地	B冷蔵庫	1・2・3・4・5		
			NO. 5	常温・保存培地	C保管庫	① 2・3・4・5 2008. 1. 20	〇〇〇	
YP2	2007. 6. 1	〇〇センター	NO. 6	冷凍・チューブ	A冷凍庫	1・2・3・4・5		
			NO. 7	冷蔵・保存培地	B冷蔵庫	1・2・3・4・5		
			NO. 8	常温・保存培地	C保管庫	1・2・3・4・5		
YP3	2007. 6. 1	〇〇機関	NO. 9	冷凍・チューブ	A冷凍庫	1・2・3・4・5		
YP1	2008. 2. 1	〇〇研究所	NO. 10	常温・保存培地	C保管庫	1・2・3・4・5	〇〇〇	

### 記載にあたっての注意事項

1. 本数単位で管理番号を付与し、管理すること
2. 滅菌する場合は、\*を参照に該当するものに○をすること
3. 確認欄には、滅菌等により廃棄された場合に、確認担当者が記名すること。  
 \* 1:121℃、15分以上の高圧蒸気滅菌 2:有効塩素濃度0.01%以上の次亜塩素酸ナトリウム水での1時間以上の浸漬 3:1分以上の煮沸  
 4:2.5%以上の水酸化ナトリウム水で30分以上の浸漬 5:その他 5の場合は、備考欄に滅菌方法を記載すること

## 病原体等保管使用記録簿（記載例）

特定病原体等： ■ペスト菌 □ボツリヌス菌 □SARSコロナウイルス □炭疽菌 □野兎病菌(ツラレンシス) □野兎病菌(ホルアーケイカ) □ボツリヌス毒素  
 二種病原体等取扱施設名称： ■〇〇〇実験室 □〇〇〇検査室 □〇〇〇動物実験室

年月日	区分	管理番号	使用目的	滅菌方法	滅菌場所	本数	使用・滅菌 従事者名	備考	確認者
2008. 1. 20	■使用 ■滅菌 □保管	NO. 5	□実験・検査 ■継代・性状確認 □本数確認 □その他( )	■1 □2 □3 □4 □5( )	■オートクレーブ1 □実験室内 □その他( )	8	使用・滅菌 〇〇、〇〇	/	〇〇〇
2008. 2. 1	□使用 □滅菌 ■保管	NO. 10	□実験・検査 ■継代・性状確認 □本数確認 □その他( )	□1 □2 □3 □4 □5( )	□オートクレーブ1 □実験室内 □その他( )	9	使用・滅菌 〇〇〇	/	〇〇〇
	□使用 □滅菌 □保管		□実験・検査 □継代・性状確認 □本数確認 □その他( )	□1 □2 □3 □4 □5( )	□オートクレーブ1 □実験室内 □その他( )		使用・滅菌		
	□使用 □滅菌 □保管		□実験・検査 □継代・性状確認 □本数確認 □その他( )	□1 □2 □3 □4 □5( )	□オートクレーブ1 □実験室内 □その他( )		使用・滅菌		

### 記載にあたっての注意事項

1. 区分の欄は、使用する場合は「使用」に、滅菌する場合は「滅菌」に、また新たに保管する場合は「保管」にチェックを入れること。
2. 管理番号は、使用時に菌株台帳の管理番号を記載すること。また、新たに保管した場合は、新たに管理番号を付与し、台帳に記載することとする。
3. 使用目的は、原則、一種病原体等についてのみの記載することとなっているが、できる限り、該当欄にチェックを入れること。
4. 滅菌方法の欄は、滅菌処理を行った場合は、\*を参照に該当するものにチェックを入れること。  
 \* 1:121℃、15分以上の高圧蒸気滅菌 2:有効塩素濃度0.01%以上の次亜塩素酸ナトリウム水での1時間以上の浸漬 3:1分以上の煮沸  
 4:2.5%以上の水酸化ナトリウム水で30分以上の浸漬 5:その他 5の場合は、カッコ内に滅菌方法を記載すること
5. 本数は、保管・使用後の本数を記載すること
6. 使用・滅菌の欄と従事者名の欄においては、該当項目に○印を記し、余白にサインをすること。

\* 保管庫を解錠した場合は、使用后、鍵を返却する際に、口頭にて施錠した旨を鍵の管理者に伝えること。

## 実験室入退出記録簿（記載例）

年月日	氏名	入室時刻	退出時刻	入室目的*	備考
2008. 1. 20	■ ○○○	13:30	14:30	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
	■ ○○○	13:30	14:30	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
	□ ○○○	/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
□( )	/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )		
	/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )		
2008. 2. 1	■ ○○○	14:00	16:00	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
	■ ○○○	14:00	16:00	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
	□ ○○○	/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
		/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )	
□( )	/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )		
	/		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4( )		

### 記載にあたっての注意事項

1. 氏名は、各実験室へ立入りが許可されている者の氏名を予め記載し、入室した場合は、チェックを入れること。機器のメンテナンスのために臨時で立入りが許可された者については、記名すること。
2. 入室時刻、退室時刻についても、一種病原体等所持者についての記帳義務であるが、できる限り記載すること。また、カードシステムによる入退室記録を印刷したものを入退室記録簿とすることもできる。そのような場合は、帳簿を備える必要はないこととする。
3. 実験室への入室目的は、一種病原体等所持者についての記帳義務であるが、できる限り該当項目にチェックをすること。また、4の場合はカッコ内に入室目的を記載すること

\* 1: 実験・検査 2: 継代・性状確認 3: 本数確認 4: その他

4. 空欄は斜線等で消しておくこと。